

# 貸 借 対 照 表

平成31年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 及 び 純 資 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	円	(負債の部)	円
流動資産	3,218,285,754	流動負債	2,431,948,563
現金及び預金	3,092,855,119	運営費交付金債務	319,928,097
現金	7,285,741	基金運用利益金負債	17,925
預金	3,085,569,378	預り寄附金	460,253,866
有価証券	8,460,000	未払金	1,541,603,011
業務未収金	33,668,599	リース債務	45,312,576
貸倒引当金	▲ 205,180	未払消費税等	23,422,500
たな卸資産	1,188,835	前受金	15,135,886
未収収益	10,297,083	預り金	26,274,702
その他流動資産	64,720,935	預り源泉所得税	1,506,986
未収金	91,340,417	預り住民税	13,082,200
貸倒引当金	▲ 26,619,482	その他預り金	11,685,516
立替金	7,300,363	固定負債	1,217,392,592
固定資産	83,420,898,510	資産見返負債	1,169,362,774
有形固定資産	80,082,905,885	資産見返運営費交付金	901,494,945
建物	71,329,728,685	資産見返物品受贈額	26,819,714
減価償却累計額	▲ 32,747,635,857	資産見返寄附金	237,246,515
構築物	18,981,578,046	建設仮勘定見返運営費交付金等	2,160,000
減価償却累計額	▲ 15,108,846,571	建設仮勘定見返寄附金	1,641,600
機械及び装置	683,840,939	長期リース債務	48,029,818
減価償却累計額	▲ 402,160,867	( 負 債 合 計 )	3,649,341,155
船舶	130,146,138	(純資産の部)	
減価償却累計額	▲ 69,699,703	資本金	
車両運搬具	326,830,458	政府出資金	113,514,962,061
減価償却累計額	▲ 225,840,917	資本剰余金	▲ 30,527,008,142
工具器具備品	1,191,837,642	資本剰余金	13,312,496,371
減価償却累計額	▲ 924,873,708	損益外減価償却累計額	▲ 47,976,567,729
土地	36,914,200,000	損益外減損失累計額	▲ 4,060,840
建設仮勘定	3,801,600	民間出えん金	4,141,124,056
無形固定資産	18,870,731	利益剰余金	1,889,190
ソフトウェア	15,685,987	前中期目標期間繰越積立金	752,434
電話加入権	1,105,744	積立金	642,418
その他無形固定資産	2,079,000	当期未処分利益	494,338
投資その他の資産	3,319,121,894	(うち、当期総利益 494,338円)	
投資有価証券	44,987,425	( 純 資 産 合 計 )	82,989,843,109
長期性預金	3,272,636,546		
預託金	1,497,923		
資 産 合 計	86,639,184,264	負 債 ・ 純 資 産 合 計	86,639,184,264

注記

1. 運営費交付金から充当されるべき賞与見積額 255,233,941円
2. 運営費交付金から充当されるべき退職給付見積額 2,320,582,728円

# 損 益 計 算 書

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

費 用 の 部		収 益 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
経常費用		経常収益	
業務費	7,467,834,169	運営費交付金収益	8,392,017,509
給与、賞与及び諸手当	1,829,838,073	事業収益	
法定福利費・福利厚生費	319,223,850	事業収入	1,821,694,629
退職金費用	39,647,758	基金運用益	22,842,992
その他人件費	304,721,335	受託収入	44,822,056
外部委託費	1,228,772,726	政府受託収入	43,512,792
賃借料	232,323,512	その他受託収入	1,309,264
減価償却費	107,569,400	補助金等収益	754,000
保守・修繕費	660,049,429	施設費収益	7,336,132
水道光熱費	752,351,911	寄附金収益	157,750,055
旅費交通費	191,331,405	資産見返負債戻入	167,671,952
消耗品費	149,261,940	資産見返運営費交付金戻入	143,927,275
備品費	32,898,989	資産見返寄附金戻入	23,744,677
諸謝金	54,915,598	財務収益	
印刷費	47,185,888	受取利息	63
通信費	43,879,754	雑益	62,410,063
撤去費	7,336,132		
貸倒引当金繰入	764,308		
子どもゆめ基金助成費	1,337,336,802		
その他業務経費	128,425,359		
一般管理費	3,207,539,143		
役員報酬	63,270,278		
給与、賞与及び諸手当	1,371,144,566		
法定福利費・福利厚生費	244,602,036		
退職金費用	132,898,677		
その他人件費	130,128,678		
外部委託費	250,654,995		
賃借料	189,454,359		
減価償却費	166,018,360		
保守・修繕費	254,785,275		
水道光熱費	77,827,631		
旅費交通費	42,185,135		
消耗品費	74,849,960		
備品費	15,335,497		
諸謝金	5,139,238		
印刷費	9,525,404		
通信費	41,311,686		
その他管理経費	138,407,368		
財務費用			
支払利息	1,534,681		
( 経常費用合計 )	10,676,907,993		
経常利益	391,458		
当期純利益	391,458		
前中期目標期間繰越積立金取崩額	102,880		
当期総利益	494,338		
合 計	10,677,299,451	合 計	10,677,299,451

注記

- ファイナンス・リース取引が損益に与える影響額は、1,481,774円であり、当該影響額を除いた当期総利益は▲987,436円であります。

キャッシュ・フロー計算書  
(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

(単位:円)

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
原材料、商品又はサービスの購入による支出	▲ 5,820,024,510
人件費支出	▲ 4,460,289,207
運営費交付金収入	8,720,360,000
事業収入	1,817,858,432
受託収入	50,212,172
補助金等収入	418,000
寄附金収入	229,925,864
消費税等の支払額	▲ 82,323,000
その他の収入	59,071,207
小計	515,208,958
利息の受取額	20,251,019
利息の支払額	▲ 1,339,010
業務活動によるキャッシュ・フロー	534,120,967
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	7,440,000
長期性預金の預入による支出	▲ 847,578,509
有形固定資産・無形固定資産の取得による支出	▲ 468,433,616
有形固定資産の売却による収入	16,000
施設費による収入	206,920,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,101,636,125
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
民間出えん金の受入による収入	807,101,363
リース債務の返済による支出	▲ 108,243,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	698,858,161
IV 資金増加額 (I + II + III)	131,343,003
V 資金期首残高	2,961,512,116
VI 資金期末残高 (IV + V)	3,092,855,119

注記

1. 資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳  
現金及び預金勘定 3,092,855,119円

利益の処分に関する書類

(単位:円)

I 当期末処分利益		<u>494,338</u>
当期総利益	494,338	
II 利益処分量		
積立金	494,338	<u>494,338</u>

行政サービス実施コスト計算書  
(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)

(単位:円)

I 業務費用		
(1)損益計算書上の費用		
業務費	7,467,834,169	
一般管理費	3,207,539,143	
財務費用	1,534,681	10,676,907,993
(2)(控除)自己収入等		
事業収入	▲ 1,821,694,629	
事業外収入		
基金運用益	▲ 22,842,992	
受託収入	▲ 44,822,056	
寄附金収益	▲ 157,750,055	
資産見返寄附金戻入	▲ 23,744,677	
財務収益	▲ 63	
雑益	▲ 62,410,063	▲ 2,133,264,535
業務費用合計		8,543,643,458
II 損益外減価償却相当額		2,243,792,447
III 損益外除売却差額相当額		13,542,478
IV 引当外賞与見積額		4,799,307
V 引当外退職給付増加見積額		▲ 691,664,994
VI 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された 使用料による賃借取引の機会費用	100,578,472	
政府出資等の機会費用	0	100,578,472
VII 行政サービス実施コスト		10,214,691,168

注記

1. 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の算定方法  
近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。
2. 政府出資等の機会費用の計算方法  
「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を受けた平成27事業年度財務諸表における行政サービス実施コスト計算書の機会費用算定の取扱いについて(平成28年4月1日付総務省行政管理局事務連絡)に基づき、利率を0.000%として計算しております。
3. 国又は地方公共団体等からの出向職員に係る引当外退職給付増加見積額▲557,047,416円

附属明細書

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価」に係る会計処理）による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

資産の種類	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期末残高	摘要
					当期償却額	累計額	当期減損額	累計額		
有形固定資産 (償却費損益内)										
建物	762,255,884	85,370,663	-	847,626,547	394,976,717	41,747,619	-	-	452,649,830	
構築物	207,493,906	29,154,803	-	236,648,709	80,243,304	10,647,582	-	-	156,405,405	
機械及び装置	370,816,248	45,898,303	-	416,714,551	164,193,839	37,610,122	-	-	252,520,712	
船舶	109,061,323	4,733,300	-	113,794,623	54,983,351	16,312,544	-	-	58,811,272	
車両運搬具	231,598,604	27,246,059	3,696,000	255,148,663	161,342,225	19,409,877	-	-	93,806,438	
工具器具備品	1,159,382,960	26,587,347	312,957,251	873,013,056	646,750,458	123,410,796	-	-	226,262,598	
計	2,840,608,925	218,990,475	316,653,251	2,742,946,149	1,502,489,894	249,138,540	-	-	1,240,456,255	
有形固定資産 (償却費損益外)	70,287,343,638	199,583,868	4,825,368	70,482,102,138	32,352,659,140	2,039,517,754	-	-	38,129,442,998	
構築物	18,762,991,076	9,630,561	27,692,300	18,744,929,337	15,028,603,267	201,475,567	-	-	3,716,326,070	
機械及び装置	273,066,273	-	5,939,885	267,126,388	237,967,028	1,780,277	-	-	29,159,360	
船舶	16,351,515	-	-	16,351,515	14,716,352	273,907	-	-	1,635,163	
車両運搬具	77,337,689	-	5,655,894	71,681,795	64,498,692	5,142	-	-	7,183,103	
工具器具備品	322,864,879	297,852	5,313,145	317,849,586	278,123,250	739,800	-	-	39,726,336	
計	89,739,955,070	209,512,281	49,426,592	89,900,040,759	47,976,567,729	2,243,792,447	-	-	41,923,473,030	
非償却資産	975,000	-	-	975,000	-	-	-	-	975,000	
土地	36,914,200,000	-	-	36,914,200,000	-	-	-	-	36,914,200,000	
建設仮勘定	-	3,801,600	-	3,801,600	-	-	-	-	3,801,600	
計	36,915,175,000	3,801,600	-	36,918,976,600	-	-	-	-	36,918,976,600	
有形固定資産合計	71,049,599,522	284,954,531	4,825,368	71,329,728,685	32,747,635,857	2,081,265,373	-	-	38,582,092,828	
建物	18,970,484,982	38,785,364	27,692,300	18,981,578,046	15,108,846,571	212,123,149	-	-	3,872,731,475	
構築物	643,882,521	45,898,303	5,939,885	683,840,939	402,160,867	39,390,399	-	-	281,680,072	
機械及び装置	125,412,838	4,733,300	-	130,146,138	69,699,703	16,586,451	-	-	60,446,435	
船舶	308,936,293	27,246,059	9,351,894	326,830,458	225,840,917	19,415,019	-	-	100,989,541	
車両運搬具	1,483,222,839	26,885,199	318,270,396	1,191,837,642	924,873,708	124,150,596	-	-	266,963,934	
工具器具備品	36,914,200,000	-	-	36,914,200,000	-	-	-	-	36,914,200,000	
土地	-	3,801,600	-	3,801,600	-	-	-	-	3,801,600	
建設仮勘定	-	432,304,356	366,079,843	129,561,963,508	49,479,057,623	2,492,930,987	-	-	80,082,905,885	
計	129,495,738,995	432,304,356	366,079,843	129,561,963,508	49,479,057,623	2,492,930,987	-	-	80,082,905,885	
無形固定資産	374,428,117	-	-	374,428,117	358,742,130	24,298,020	-	-	15,655,987	
ソフトウェア	374,428,117	-	-	374,428,117	358,742,130	24,298,020	-	-	15,655,987	
電話加入権	5,166,584	-	-	5,166,584	-	-	4,060,840	-	1,105,744	
その他無形固定資産	2,268,000	-	-	2,268,000	189,000	151,200	-	-	2,079,000	
計	381,862,701	-	-	381,862,701	358,931,130	24,449,220	4,060,840	-	18,870,731	
投資有価証券	53,444,375	3,050	8,460,000	44,987,425	-	-	-	-	44,987,425	
長期性預金	2,425,058,037	847,578,509	-	3,272,636,546	-	-	-	-	3,272,636,546	
預託金	1,440,083	105,080	47,240	1,497,923	-	-	-	-	1,497,923	
計	2,479,942,495	847,686,639	8,507,240	3,319,121,894	-	-	-	-	3,319,121,894	

(単位:円)

## 2. たな卸資産の明細

(単位:円)

種類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘要
		当期購入・ 製造・振替	その他	払出・振替	その他		
切手・はがき	733,695	2,794,213	—	2,760,711	—	767,197	
道路通行券等	353,735	656,808	—	588,905	—	421,638	
計	1,087,430	3,451,021	—	3,349,616	—	1,188,835	

## 3. 有価証券の明細

## (1) 流動資産として計上された有価証券

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表 計上額	当期費用に含ま れた評価差額	摘要
	地方債 大阪府公募公債第335回	8,460,000	8,460,000	8,460,000	—	
	計	8,460,000	8,460,000	8,460,000	—	

## (2) 投資その他の資産として計上された有価証券

(単位:円)

満期保有 目的債券	種類及び銘柄	取得価額	券面総額	貸借対照表 計上額	当期費用に含ま れた評価差額	摘要
	地方債 京都府公募公債第5回	19,982,000	20,000,000	19,993,850	—	
	地方債 大阪府公募公債第380回	11,994,000	12,000,000	11,997,150	—	
	地方債 大阪府公募公債第389回	12,993,500	13,000,000	12,996,425	—	
	計	44,969,500	45,000,000	44,987,425	—	

## 4. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

(単位:円)

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	期首残高	当期増減額	期末残高	期首残高	当期増減額	期末残高	
業務未収金							
一般債権	26,446,028	6,880,491	33,326,519	—	—	—	
貸倒懸念債権	68,280	273,800	342,080	68,280	136,900	205,180	(注)
計	26,514,308	7,154,291	33,668,599	68,280	136,900	205,180	
未収金							
一般債権	69,544,955	▲4,924,020	64,620,935	—	—	—	
貸倒懸念債権	28,605,170	▲1,885,688	26,719,482	27,657,288	▲1,037,806	26,619,482	(注)
計	98,150,125	▲6,809,708	91,340,417	27,657,288	▲1,037,806	26,619,482	
立替金							
一般債権	7,393,717	▲93,354	7,300,363	—	—	—	
貸倒懸念債権	41,670	▲41,670	—	41,670	▲41,670	—	(注)
計	7,435,387	▲135,024	7,300,363	41,670	▲41,670	—	

(注) 貸倒懸念債権については、債権額から担保の処分見込額及び保証による回収見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定しております。

## 5. 資本金及び資本剰余金の明細

(単位:円)

区 分		期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	摘要
資本金	政府出資金	113,514,962,061	—	—	113,514,962,061	
	計	113,514,962,061	—	—	113,514,962,061	
資本剰余金	施設費による 固定資産の取得	11,963,814,486	199,583,868	—	12,163,398,354	取得による増
	施設費による 非償却資産の取得	1,682,900,000	—	—	1,682,900,000	
	運営費交付金による 非償却資産の取得	840,840	—	—	840,840	
	損益外除売却差額	▲499,279,184	—	49,426,592	▲548,705,776	除却による減
	その他	4,165,780	9,928,413	31,240	14,062,953	
	計	13,152,441,922	209,512,281	49,457,832	13,312,496,371	
	損益外減価償却 累計額	▲45,768,659,396	▲2,243,792,447	▲35,884,114	▲47,976,567,729	償却による増 除却による減
	損益外減損損失 累計額	▲4,060,840	—	—	▲4,060,840	
	民間出えん金	3,334,022,693	807,101,363	—	4,141,124,056	
	差引計	▲29,286,255,621	▲1,227,178,803	13,573,718	▲30,527,008,142	

## 6. 積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

## (1) 積立金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	摘要
通則法第44条第1項に基づく積立金	174,728	467,690	—	642,418	(注)1
前中期目標期間繰越積立金	855,314	—	102,880	752,434	(注)2
計	1,030,042	467,690	102,880	1,394,852	

(注) 1. 当期増加額は、平成29年度の利益処分であります。

2. 当期減少額は、目的積立金の取崩しとして費用の発生に充てられたものであります。

## (2) 目的積立金の取崩しの明細

(単位:円)

区 分		金 額	摘 要
目的積立金取崩額	前中期目標期間繰越積立金	102,880	(注)
	計	102,880	

(注) 自己収入を財源とする固定資産の減価償却相当額であります。

## 7. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

## (1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交 付 年 度	期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				期末残高
			運営費交付金 収益	資産見返運 営費交付金	資 本 剰余金	小 計	
28 年度	4,884,925	—	4,884,925	—	—	4,884,925	—
29 年度	135,696,234	—	135,696,234	—	—	135,696,234	—
30 年度	—	8,720,360,000	8,251,436,350	148,995,553	—	8,400,431,903	319,928,097
計	140,581,159	8,720,360,000	8,392,017,509	148,995,553	—	8,541,013,062	319,928,097



## (2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

## ① 運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位:円)

区 分	運営費交付金 収益	運 営 費 交 付 金 の 主 な 使 途	
		費 用	主 な 使 途
業務達成基準による振替額	5,169,998,661	5,169,998,661	
自立する青少年の育成の 推進	1,010,852,163	1,010,852,163	人件費:668,596,699 外部委託費:334,303,148 その他:7,952,316
青少年教育指導者等の養成 及び資質の向上	413,305,137	413,305,137	人件費:273,088,792 外部委託費:126,071,004 その他:14,145,341
青少年教育指導者等研修 及び青少年研修に対する 指導及び助言	1,221,925,466	1,221,925,466	人件費:807,966,151 外部委託費:369,050,606 その他:44,908,709
青少年教育に関する施設 及び団体相互間の連絡 及び協力の促進	28,483,906	28,483,906	人件費:18,833,710 外部委託費:8,602,578 その他:1,047,618
青少年教育に関する 専門的な調査研究	173,746,927	173,746,927	人件費:114,885,630 外部委託費:52,475,727 その他:6,385,570
青少年教育団体が行う活動 に対する助成	2,149,138,627	2,149,138,627	人件費:325,769,000 子どもゆめ基金助成費:1,337,336,802 外部委託費:338,269,663 その他:147,763,162
退職一時金	172,546,435	172,546,435	退職一時金:172,546,435
期間進行基準による振替額	3,222,018,848	3,222,018,848	人件費:2,053,788,834 外部委託費:250,654,995 賃借料:189,454,359 保守・修繕費:254,785,275 その他:473,335,385
費用進行基準による振替額	-	-	○費用進行基準を採用した業務はない。
会計基準第 81 条第 4 項による 振替額	-	-	
合 計	8,392,017,509	8,392,017,509	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
自立する青少年の育成の推進	24,320,837	建物附属設備:16,634,933 車両運搬具:4,664,341 工具器具備品:3,021,563	-	
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	9,933,863	建物附属設備:6,794,550 車両運搬具:1,905,153 工具器具備品:1,234,160		
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	29,390,534	建物附属設備:20,102,497 車両運搬具:5,636,626 工具器具備品:3,651,411	-	
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	685,094	建物附属設備:468,590 車両運搬具:131,390 工具器具備品:85,114	-	
青少年教育に関する専門的な調査研究	4,179,073	建物附属設備:2,858,397 車両運搬具:801,478 工具器具備品:519,198	-	
青少年教育団体が行う活動に対する助成	-		-	
共通	80,486,152	機械装置:41,619,789 建物附属設備:19,646,950 その他:19,219,413	-	
合計	148,995,553		-	

(3)運営費交付金債務残高の明細

①30年度交付分

(単位:円)

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	319,928,097	○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。 ・青少年団体が行う活動に対する助成 平成30年度に予定していた計画の一部が未達で、計画に対する達成率が88.6%となったことから、11.4%相当額(262,999,036円)について、翌期に再度実施し、収益化する予定である。 ・退職一時金 退職予定者の一部に退職日延期者が発生したため、相当額(56,929,061円)を翌期に繰り越し、退職一時金支給時に収益化する予定である。
期間進行基準を採用した業務に係る分	-	○翌事業年度への繰越額はない。
費用進行基準を採用した業務に係る分	-	○費用進行基準を採用した業務はない。
計	319,928,097	

8. 運営費交付金以外の国等からの財源措置明細

(1) 施設費の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳			摘 要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	その他	
施設整備費	206,920,000	-	199,583,868	7,336,132	
計	206,920,000	-	199,583,868	7,336,132	

(2) 補助金等の明細

(単位:円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳					摘要
		建設仮勘定 見返補助金等	資産見返 補助金等	資本 剰余金	長期預り 補助金等	収益計上	
こども森の恵み推進事業 (石川県)	154,000	-	-	-	-	154,000	
ASO 環境共生基金 (阿蘇市)	500,000	-	-	-	-	500,000	
立山通学合宿補助金 (立山町)	100,000	-	-	-	-	100,000	
計	754,000	-	-	-	-	754,000	

9. 役員及び職員の給与の明細

(単位:千円, 人)

区 分	報 酬 又 は 給 与		退 職 手 当	
	支 給 額	支給人員	支 給 額	支給人員
役 員	(2,160)	(3)	(-)	(-)
	61,110	4	-	-
職 員	(381,223)	(343)	(-)	(-)
	3,200,983	484	172,546	23
合 計	(383,383)	(346)	(-)	(-)
	3,262,093	488	172,546	23

(注) 1. 支給の基準は、役員給与規程、職員給与規程、非常勤職員給与規程等によっております。

2. 職員の支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。

3. ( )内は非常勤役職員の数字であり外数であります。

## 10. セグメント情報

(単位:円)

	青少年教育事業				
	自立する青少年の 育成の推進	青少年教育指導者等の 養成及び資質の向上	青少年教育指導者等研修 及び青少年研修に対する 指導及び助言	青少年教育に関する施設 及び団体相互間の連絡 及び協力の促進	青少年教育に関する 専門的な調査研究
<b>I 事業費用、事業収益及び事業損益</b>					
事業費用					
人件費	668,596,699	273,088,792	807,966,151	18,833,710	114,885,630
業務費					
外部委託費	334,303,148	126,071,004	369,050,606	8,602,578	52,475,727
保守・修繕費	231,024,597	94,368,553	285,445,838	6,507,735	39,697,184
水道光熱費	263,452,681	107,602,998	318,356,455	7,420,896	45,267,468
子どもゆめ基金助成費	-	-	-	-	-
その他業務経費	319,077,694	129,032,537	323,599,760	7,535,659	45,967,518
一般管理費	-	-	-	-	-
財務費用	-	-	-	-	-
事業費用 計	1,816,454,819	730,163,884	2,104,418,810	48,900,578	298,293,527
事業収益					
運営費交付金収益	1,010,852,163	413,305,137	1,221,925,466	28,483,906	173,746,927
事業収入	631,361,683	275,863,502	751,852,365	17,525,696	106,906,746
受取利息	-	-	-	-	-
基金運用益	-	-	-	-	-
寄附金収益	62,392,489	21,436,972	63,423,870	1,478,412	9,018,312
受託収入	44,822,056	-	-	-	-
補助金等収益	754,000	-	-	-	-
施設費収益	2,604,327	1,063,739	3,147,201	73,361	447,504
資産見返負債戻入	35,615,659	14,547,241	43,039,769	1,003,258	6,119,874
雑益	28,185,399	3,993,047	21,204,165	336,071	2,063,260
事業収益 計	1,816,587,776	730,209,638	2,104,592,836	48,900,704	298,302,623
事業損益	132,957	45,754	174,026	126	9,096
<b>II 臨時損益等</b>					
当期純損益	132,957	45,754	174,026	126	9,096
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	-	-	-	-
当期総損益	132,957	45,754	174,026	126	9,096
<b>III 行政サービス実施コスト</b>					
業務費用	1,041,263,832	425,427,385	1,257,751,943	29,322,952	178,856,784
損益計算書上の費用 (控除)自己収入	1,816,454,819 ▲ 775,190,987	730,163,884 ▲ 304,736,499	2,104,418,810 ▲ 846,666,867	48,900,578 ▲ 19,577,626	298,293,527 ▲ 119,436,743
損益外減価償却相当額	796,546,319	325,349,905	962,586,960	22,437,924	136,871,339
損益外除売却差額相当額	4,807,580	1,963,659	5,809,723	135,425	826,091
引当外賞与見積額	▲ 1,163,080	▲ 475,061	▲ 1,405,524	▲ 32,763	▲ 199,853
引当外退職給付増加見積額	▲ 162,030,471	▲ 66,181,460	▲ 195,805,835	▲ 4,564,239	▲ 27,841,856
機会費用	-	-	-	-	-
国又は地方公共団体財産の 無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	-	-	-	-	-
政府出資等の機会費用	-	-	-	-	-
行政サービス実施コスト	1,679,424,180	686,084,428	2,028,937,267	47,299,299	288,512,505
<b>IV 総資産</b>					
建物	13,642,705,490	5,572,372,665	16,486,537,057	384,301,563	2,344,239,535
構築物	1,368,657,419	559,029,087	1,653,955,021	38,553,730	235,177,754
土地	13,104,541,000	5,352,559,000	15,836,191,800	369,142,000	2,251,766,200
投資その他の資産	450,074	183,833	543,891	12,678	77,337
その他	167,608,471	68,459,798	202,546,577	4,721,364	28,800,330
総資産 計	28,283,962,454	11,552,604,383	34,179,774,346	796,731,335	4,860,061,156

(単位:円)

	青少年団体が行う 活動に対する助成 (基金事業)	法人共通	合計
<b>I 事業費用、事業収益及び事業損益</b>			
事業費用			
人件費	325,769,000	2,226,335,269	4,435,475,251
業務費			
外部委託費	338,269,663	-	1,228,772,726
保守・修繕費	3,005,522	-	660,049,429
水道光熱費	10,251,413	-	752,351,911
子どもゆめ基金助成費	1,337,336,802	-	1,337,336,802
その他業務経費	170,679,117	-	995,892,285
一般管理費	-	1,265,494,908	1,265,494,908
財務費用	-	1,534,681	1,534,681
事業費用 計	2,185,311,517	3,493,364,858	10,676,907,993
事業収益			
運営費交付金収益	2,149,138,627	3,394,565,283	8,392,017,509
事業収入	6,083,460	32,101,177	1,821,694,629
受取利息	-	63	63
基金運用益	22,842,992	-	22,842,992
寄附金収益	-	-	157,750,055
受託収入	-	-	44,822,056
補助金等収益	-	-	754,000
施設費収益	-	-	7,336,132
資産見返負債戻入	7,246,438	60,099,713	167,671,952
雑益	-	6,628,121	62,410,063
事業収益 計	2,185,311,517	3,493,394,357	10,677,299,451
事業損益	-	29,499	391,458
<b>II 臨時損益等</b>			
当期純損益	-	29,499	391,458
前中期目標期間繰越積立金取崩額	-	102,880	102,880
当期総損益	-	132,379	494,338
<b>III 行政サービス実施コスト</b>			
業務費用	2,156,385,065	3,454,635,497	8,543,643,458
損益計算書上の費用 (控除)自己収入	2,185,311,517 ▲ 28,926,452	3,493,364,858 ▲ 38,729,361	10,676,907,993 ▲ 2,133,264,535
損益外減価償却相当額	-	-	2,243,792,447
損益外除売却差額相当額	-	-	13,542,478
引当外賞与見積額	657,000	7,418,588	4,799,307
引当外退職給付増加見積額	▲ 56,460,000	▲ 178,781,133	▲ 691,664,994
機会費用	-	100,578,472	100,578,472
国又は地方公共団体財産の 無償又は減額された使用料による 貸借取引の機会費用	-	100,578,472	100,578,472
政府出資等の機会費用	-	-	-
行政サービス実施コスト	2,100,582,065	3,383,851,424	10,214,691,168
<b>IV 総資産</b>			
建物	838,952	151,097,566	38,582,092,828
構築物	-	17,358,464	3,872,731,475
土地	-	-	36,914,200,000
投資その他の資産	3,317,623,971	230,110	3,319,121,894
その他	846,084,291	2,632,817,236	3,951,038,067
総資産 計	4,164,547,214	2,801,503,376	86,639,184,264

(注) 1. 区分の方法

区分は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構法」(平成11年12月22日法律第167号)第十一条(業務の範囲)及び「独立行政法人国立青少年教育振興機構に関する省令」(平成13年3月30日文科科学省令第30号)第十五条(経理方法)に基づき区分し、その他共通的な事項を法人共通として区分しております。

2. 各事業の内訳

事業区分		事業内容
青少年教育事業	自立する青少年の育成の推進	青少年の体験活動等の重要性に関する普及・啓発や青少年教育に関する地域力向上のためのモデル的事業の開発及びグローバル人材の育成を見据えた国際交流の推進
	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	青少年教育指導者等の養成及び資質の向上等を目的として当機構が実施する青少年教育指導者等研修及びボランティアの養成・研修の推進
	青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	青少年教育団体が実施する青少年指導者等研修及び青少年研修に対し、学習の場や機会、情報を提供するとともに、指導・助言等の支援を行う事業
	青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	青少年教育団体相互間の連絡・協力を促進する事業
	青少年教育に関する専門的な調査研究	青少年の体験活動の重要性等、青少年教育に関する調査研究
青少年教育団体が行う活動に対する助成(基金事業)		青少年教育団体が実施する活動に対して行う助成金の交付並びに附帯事業(「独立行政法人国立青少年教育振興機構に関する省令」(平成13年3月30日文科科学省令第30号)第十五条に基づき区分経理)

(報告セグメントの変更に関する事項)

平成31年3月29日付で第3期中期計画及び平成30年度計画を変更したことにより、従来「青少年教育指導者等研修及び青少年研修」としていたセグメントを、「自立する青少年の育成の推進」と「青少年教育指導者等の養成及び資質の向上」の2つのセグメント区分に変更しました。

なお、当事業年度のセグメント情報を変更前の区分表示により作成した場合、従来は同一のセグメントであったことから、当事業年度のセグメント情報の合計額と同一となり、当該変更がセグメント情報に与える影響はありません。

3. 「一般管理費」の「法人共通」(1,265,494,908円)は各セグメントに配賦しなかった費用であり、その主な内容は外部委託費、賃借料、保守・修繕費でありそれぞれ250,654,995円、189,454,359円、254,785,275円であります。

4. 有形固定資産、無形固定資産の「法人共通」合計(519,091,038円)は各セグメントに配賦しなかった資産であり、その主な内容は建物及び機械装置であり、それぞれ151,097,566円、171,685,993円であります。

5. 目的積立金の取り崩しを財源とする費用

事業区分	金額(円)
自立する青少年の育成の推進	-
青少年教育指導者等の養成及び資質の向上	-
青少年教育指導者等研修及び青少年研修に対する指導及び助言	-
青少年教育に関する施設及び団体相互間の連絡及び協力の促進	-
青少年教育に関する専門的な調査研究	-
青少年教育団体が行う活動に対する助成(基金事業)	-
法人共通	102,880
合計	102,880

## 11. 関連公益法人等の状況

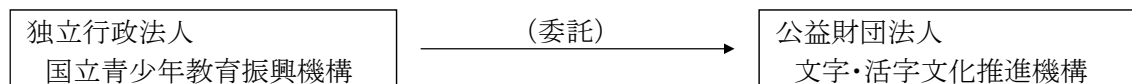
### (1) 関連公益法人等の概要

法人の名称	当機構との関係	業務の概要
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	関連公益法人	「子どもの読書活動の推進に関する法律」と「文字・活字文化振興法」の具現を通じて、読書・新聞閲読のための環境整備や文字・活字文化の振興、言語力(読む・書く・考える・伝える)の向上を図り、地域・学校・企業における講座・研修活動、ワークショップ等を推進するとともに、それに必要な人材育成を進め、もって国民の人間性の涵養とわが国文化の発展、並びに創造的な国づくりに資することを目的とする。

### (2) 役員の名(平成31年3月31日現在)

法人の名称	役員の名
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	理事長 肥田 美代子 副理事長 白石 興二郎、相賀 昌宏 専務理事 渡辺 鋭氣 理事 足立 直樹、石井 直、一力 雅彦、伊藤 雅俊、岡田 直敏、金子 眞吾、北島 義俊、近藤 敏貴、鹿谷 史明、羽山 正孝 船坂 良雄、堀 憲郎、丸山 昌弘、山本 信夫、渡辺 雅隆 監事 北村 哲男、能勢 正幸

### (3) 当機構との取引の関連図



### (4) 関連公益法人等の財務状況

#### ① 貸借対照表(平成31年3月31日現在) (単位:円)

法人の名称	科目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	資産	168,154,637
	負債	9,351,953
	正味財産	158,802,684

#### ② 正味財産増減計算書(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

別紙に記載

#### ③ 収支計算書(平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位:円)

法人の名称	科目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	当期収入合計額	88,527,413
	当期支出合計額	92,929,924
	当期収支差額	▲4,402,511

### (5) 関連公益法人等の基本財産等の状況

#### ① 関連公益法人等の基本財産に対する出えん、拠出、寄附等の明細

該当無し

#### ② 関連公益法人等の運営費、事業費等に充てるために当該事業年度において負担した会費、負担金等の明細

該当無し

## (6) 関連公益法人等との取引の状況

## ① 債権債務の明細

(単位:円)

法人の名称	項目	金額
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	未払金	13,105,741
	未収金	該当無し

## ② 債務保証の明細

該当無し

## ③ 関連公益法人等の事業収入の金額とこれらのうち当機構の発注等に係る金額及びその割合

(単位:円)

法人の名称	事業収入	左記のうち 当機構の発注高		当機構の発注高の内訳					
				競争入札		企画競争等		競争性のない 随意契約	
		金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)	金額	割合 (%)
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	54,988,850	41,785,741	76.0%	24,972,987	59.8%	16,812,754	40.2%	—	—

(注) 1. 事業収入は、正味財産増減計算書のうち、事業収益及び受取補助金等の合計額となっております。

(注) 2. 当機構の発注高は、当機構の平成30年度財務諸表に計上されている発注高(費用)を計上しております。



別紙  
正味財産増減計算書(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(単位:円)

法人の名称	一般正味財産増減の部						指定正味財産増減の部															
	収益		収益の内訳		費用		費用の内訳		当期増減額		一般正味財産 期末残高		一般正味財産 期首残高		当期増減額		指定正味財産 期末残高		指定正味財産 期首残高		正味財産 期末残高	
	A	受取 補助金等	その他の 収益	事業費	管理費	その他の 費用	B	事業費	管理費	その他の 費用	C=A-B	D	E=C+D	F	受取 補助金等	その他の 収益	G	H=F-G	I	J=H+I	K=E+J	
公益財団法人 文字・活字文化推進機構	87,879,413	45,775,825	42,103,588	39,228,619	53,053,305	92,281,924	39,228,619	53,053,305	—	-4,402,511	63,205,195	58,802,684	—	—	—	—	—	—	100,000,000	100,000,000	158,802,684	

## 1. 重要な会計方針

### 1. 運営費交付金収益の計上基準

収益化単位の業務及び退職一時金については業務達成基準を採用しております。  
管理部門の活動については、期間進行基準を採用しております。

### 2. 基金運用益の計上基準

基金運用益は、中期計画及びこれを具体化する年度計画等において、業務のための支出額を限度として収益化しております。基金運用利益金負債勘定は、子どもゆめ基金の資金運用先である有価証券に係る有価証券利息のうち、収益化未済の金額が記載されております。

### 3. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。  
主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	2年～64年
構築物	2年～55年
機械及び装置	2年～16年
船舶	2年～13年
車両運搬具	2年～7年
工具器具備品	2年～16年

なお、耐用年数については、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

また、特定の償却資産「独立行政法人会計基準」第87の減価償却額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金を減額しております。

#### (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

#### (3) リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

### 4. 賞与に係る見積額の計上基準

賞与については運営費交付金により財源が措置されておりますので、賞与の見積額を貸借対照表注記において表示し、賞与の増加額を行政サービス実施コスト計算書に表示しております。

5. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準並びに退職給付費用の処理方法

退職給付については運営費交付金により財源が措置されておりますので、退職給付の見積額を貸借対照表注記において表示しております。

なお、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職給付増加見積額は、「独立行政法人会計基準」第 38 に基づき計算された退職一時金に係る退職給付引当金の当期増加額を計上しております。

6. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に債権の回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

7. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券

償却原価法（定額法）

8. たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品の評価基準及び評価方法は、最終仕入原価法による低価法を採用しております。

9. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

①国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の算定方法  
近隣の地代や賃借料を参考に計算しております。

②政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を受けた平成 27 事業年度財務諸表における行政サービス実施コスト計算書の機会費用算定の取扱いについて」（平成 28 年 4 月 1 日付総務省行政管理局事務連絡）に基づき、利率を 0.000%として計算しております。

10. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金は、手元現金及び要求払預金からなっております。

11. 消費税等の会計処理方法

税込方式によっております。

II. 金融商品の時価等の開示に関する注記

1. 金融商品の状況に関する事項

当法人の資金運用については、「独立行政法人通則法」第 47 条に規定された金融商品に限定し、主として「独立行政法人国立青少年教育振興機構法」第 13 条に定められた基金の運用を行っております。現在保有している有価証券は地方債のみであり、株式等は保有しておりません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	3,093	3,093	—
(2) 有価証券及び投資有価証券	53	55	1
満期保有目的の債券	53	55	1
(3) 長期性預金	3,273	3,275	2
(4) 未払金	(1,542)	(1,542)	—

(注1) 負債に計上されているものは、( ) で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(1) 現金及び預金

現金及び預金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(2) 有価証券及び投資有価証券

取引金融機関から提示された価格によっております。

(3) 長期性預金（コーラブル預金）

取引金融機関から提示された価格によっております。

(4) 未払金

未払金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

### III. 賃貸等不動産の時価等の開示に関する注記

賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略しております。

### IV. 重要な後発事象

該当事項はありません。

### V. 貸借対照表に計上していない資産除去債務の概要

当法人では、土地賃貸借契約を締結しており、契約終了時に原状回復義務を有しておりますが、現時点では、履行時期の予測及び除去費用の負担額の合理的な見積りが困難であるため、資産除去債務を計上していません。